

## シリーズ「同僚が倒れたら」

### (その2) 同僚が倒れた！ まず何をすべき？

**答) 自分の身の安全を確保してから駆けつけ、大声で呼びかけて反応をみます。**

**反応がなければ、大声で人を呼びます。**

**集まった人に119番通報とAEDの手配を頼みますが、自分しかいない場合は、**

**119番通報を優先して行います。**

突然倒れるところを目撃したり、倒れているところを発見したりした場合、その人に近寄る前に周囲を見渡して安全であることを確認します。有毒ガスや酸素が少ない気体を吸い込んだために倒れた人を助けようとして、次々に道連れになるケースは多いのです。煙がたちこめていないか・酸欠になりうる状況か、また車の往来がないかなどを確認して、そのような状況があればそれぞれに応じて安全を確保するか、無理であれば119番通報します。

安全が確認できたら、倒れた人の肩を優しく叩きながら大声で呼びかけて反応をみます。目を開けたり、返事をしたり、何かをしようとする仕草があれば、反応があると判断します。

反応がない場合は、「誰か来て下さい！ 人が倒れています！」と大声で叫んで応援を呼びます。

人が来たら、「あなたは119番通報をして下さい、そしてあなたはAEDを持ってきて下さい」と、一人一人に具体的に依頼します。

大声で叫んでも人が来なくて、自分しかいないという場合は、まず「119番通報」をすべきでしょう。

119番通報では、できるだけ正確な場所と、呼びかけても反応がないことを伝えます。もしわかれば、倒れた人のおおよその年齢や、倒れた時の状況(目の前で突然倒れた・倒れていたところを発見した・けいれんしているなど)も伝えます。すると、電話を通して、行すべきことを指導してくれますので、心肺蘇生法の訓練を受けたことがなくても、落ち着いて指示に従って下さい。

